

21品証第001号

2021年4月1日

進工業株式会社

代表取締役社長

上村 勇蔵



2021年度 品質活動方針

1. 基本方針

中期計画である売上高2021年度/80億円・2025年度/150億円の達成に向けて、安定した技術と品質に基づく生産が必須であると共に、収益改善の為の徹底したコストダウンが不可欠である。これらを踏まえ、2021年度の品質活動方針を下記の通り設定する。

2. 2021年度品質活動方針

- (1) 基本方針の通り、安定した技術と品質に基づく生産工程の構築に向けて最終の検査で品質を保証するのではなく、工程単位で品質を保証する＝自工程完結を進め、更に量産に入る前の開発段階から品質の造り込みを行う。その為には、各部門がIATF16949を始めとするシステムを基本にVDAや顧客固有要求事項を含め、これまでの固定概念を捨て新しいシステムへと進化させる取組を推進する。
- (2) 顧客クレーム・社内不具合の削減に向けて不具合1件1件に徹底した真因追求を行う。また生産工程では決められたルールを確実に守り、日常の品質管理を確実なものとする。
更にZD活動を通じて、過去トラの再検証、PQC導入、変化点管理(3Hの吸い上げ)、5S3定、動線改善、基準の適正化、チョコ停改善、不適合撲滅活動と小集団活動を継続して進める。
これら活動を行う為に、各部門で全員の教育にも力を入れ、全社員のレベルをワンランク上げる取組みを推進する。
- (3) 全部門で生産性改善(コストダウン)への取組を行うため、QCDS5に対し過年度実績値より高い目標値を設け、実現可能な改善実行計画を策定し、計画を達成させる。

以上